

病院等における必要医師数実態調査について

〔平成22年10月19日
医療政策課〕

1 調査の概要

(1) 調査目的

全国統一的な方法により各医療機関が必要と考えている医師数の調査を行い、地域別・診療科別必要医師数の実態，求人理由の傾向，求人しているにもかかわらず充足しない理由，短時間正規雇用の導入状況等を把握することにより，医師確保対策を一層効果的に推進していくこと。

※ 本調査は，病院等による「求人ベース」の調査であり，患者数や地域性等を考慮しての必要数を表すものではない。

(2) 実施主体 厚生労働省

(3) 調査対象医療機関 病院及び分娩取扱い診療所
253 病院，34 診療所（全国：8,683 病院，1,579 診療所）

(4) 回収率 91.3%（全国：84.8%）

(5) 調査時点 平成22年6月1日

(6) 主な調査内容

① 必要求人医師数

○ 地域医療において，現在，当該医療機関が担うべき診療機能を維持するために確保しなければならない医師のうち，調査時点において，求人しているにもかかわらず充足されていない医師数

② 必要非求人医師数

○ 地域医療において，現在，当該医療機関が担うべき診療機能を維持するために確保しなければならない医師のうち，調査時点において，求人していない医師数

③ 現員数

○ 当該医療機関における医師の現員数（初期臨床研修医は除く。）

2 広島県の調査結果の特徴

○ 現員医師数に対する必要求人医師数の割合は，全国 1.11 と広島県 1.12 でほぼ同じ割合であった。

○ 分娩取扱い医師について，現員医師数に対する必要求人医師数の割合は，全国 1.11，広島県 1.15 であり，広島県がやや高い割合となっている。

○ 県内の二次医療圏別の必要求人医師数の状況について，現員医師数に対する必要求人医師数の割合を見ると，全県平均 1.12 に対し，尾三 1.20 が最も高く，呉 1.17，広島中央 1.15 と続き，広島が 1.08 と最も低くなっている。

○ 必要求人医師数が多い診療科は，多い順に，全国では内科 3,284，整形外科 1,598，外科 1,002，広島県では内科 73，整形外科 41，麻酔科・精神科各 32 となっており，全国と類似した傾向が見られる。

○ 現員医師数に対する必要求人医師数の割合が高い診療科は，高い順に，全国ではリハビリ科 1.23，救急科 1.21，呼吸器内科・腎臓内科・神経内科 1.16，広島県では全科 1.51，病理診断科 1.34，婦人科・リハビリ科 1.31 となっている。

3 調査結果の概要（詳細は別紙参照）

(1) 必要求人医師数等の状況【全国と広島県の比較】

区 分	現員医師数 A	必要求人医師数 B	必要医師数 C		
			倍率(A+B)/A	必要医師数 C	倍率(A+C)/A
全 国	167,063	18,288	1.11	24,033	1.14
広島県	3,971	461	1.12	607	1.15

※ 必要医師数とは、必要求人医師数と必要非求人医師数との合計である。

※ 医師数については、小数点以下を切り捨てしている。

(2) 必要求人医師数等の状況【全国と広島県の比較：分娩取扱い医師（再掲）】

区 分	現員医師数 A	必要求人医師数 B	必要医師数 C		
			倍率(A+B)/A	必要医師数 C	倍率(A+C)/A
全 国	7,312	796	1.11	1,124	1.15
広島県	156	23	1.15	33	1.22

※ 医師数については、小数点以下を切り捨てしている。

(3) 必要求人医師数等の状況【広島県：二次医療圏別】

区 分	現員医師数 A	必要求人医師数 B	必要医師数 C		
			倍率(A+B)/A	必要医師数 C	倍率(A+C)/A
広島	1,957.6	154.7	1.08	184.9	1.09
広島西	199.4	26.0	1.13	37.0	1.19
呉	451.1	75.4	1.17	89.1	1.20
広島中央	232.3	35.4	1.15	44.2	1.19
尾三	380.9	75.1	1.20	105.1	1.28
福山・府中	610.8	76.8	1.13	101.8	1.17
備北	139.7	18.4	1.13	45.4	1.32
全県	3,971.8	461.8	1.12	607.5	1.15

(4) 必要求人医師数の状況【全国と広島県の比較：必要求人医師数の多い診療科】

全 国			広 島 県		
診療科	必要求人医師数	倍 率	診療科	必要求人医師数	倍 率
内科	3,284	1.12	内科	73	1.10
整形外科	1,598	1.13	整形外科	41	1.13
外科	1,002	1.07	麻酔科	32	1.20
小児科	956	1.11	精神科	32	1.12
産婦人科	946	1.13	小児科	27	1.15
精神科	935	1.09	脳神経外科	23	1.15
麻酔科	921	1.12	産婦人科	22	1.16
循環器内科	873	1.11	外科	22	1.05

※ 倍率は、必要求人医師数と現員医師数の合計の現員医師数に対する割合である。

※ 医師数については、小数点以下を切り捨てしている。

(5) 必要求人医師数の状況【全国と広島県の比較：倍率の高い診療科】

全 国			広 島 県		
診療科	倍 率	必要求人医師数	診療科	倍 率	必要求人医師数
リハビリ科	1.23	396	全科	1.51	12
救急科	1.21	543	病理診断科	1.34	5
呼吸器内科	1.16	660	婦人科	1.31	4
腎臓内科	1.16	353	リハビリ科	1.31	11
神経内科	1.16	550	眼科	1.23	19
糖尿病内科	1.15	276	麻酔科	1.20	32

※ 倍率は、必要求人医師数と現員医師数の合計の現員医師数に対する割合である。

※ 医師数については、小数点以下を切り捨てしている。

4 今後の対応

- 医師確保対策については、次のとおり短期及び中長期的な視点から施策を展開しているところであるが、本調査結果を今後の県の取組みに反映させるとともに、平成23年度に設立を予定している広島県地域医療推進機構（仮称）においても総合的な医師確保対策に取り組む。

《 平成22年度の広島県における医師確保のための取組み 》

医師不足問題対応への基本的考え方

- 特に医師が不足する地域や、診療科を対象とした直接的な支援
- 中長期的な視点で本県医師の絶対数を確保し、その結果として中山間地域等にも必要な医師を供給する仕組みづくりに視点を置いた取組を推進する。

基本方針	対 策	広島県の主な施策・対応
<p>Ⅰ 医師の絶対数確保</p> <p>(1) 不足する地域・診療科へ（緊急的）</p> <p>(2) 県全体として（中長期的）</p>	<p>不足地域への医師の派遣</p> <p>不足する地域・診療科への医師の招へい</p> <p>県外医師の県内での就業促進</p> <p>医師養成数の増大（定着支援）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治医科大学での養成及び卒業医の配置 ■ 緊急医療支援市町交付金 ■ 助産師外来支援 ■ 分娩・救急勤務医手当への支援 ■ ふるさとドクターネット広島 ■ 広島大学「ふるさと枠」創設・拡充 ■ 岡山大学「地域枠」創設 ■ 広島県医師育成奨学金 ■ 広島大学医学部寄附講座の創設 ■ 魅力ある臨床研修プログラム構築支援 ■ 地域周産期母子医療センター医師育成支援
<p>Ⅱ 地域医療体制の維持・確保</p>	<p>新たな医師確保対策システムの構築</p> <p>地域住民の理解・協力の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広島県地域医療推進機構（仮称）設立準備 ・ 広島県地域医療推進機構（仮称）設立検討 ・ 女性医師等就労環境整備 ■ 地域医療と健康を支える環境づくり
<p>Ⅲ 制度的対策の検討（制度見直しの提案）</p>	<p>医師の育成・供給システムの見直し</p> <p>医療の担い手を支える環境づくり</p> <p>地域主導による医療体制確保への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 厚生労働省、文部科学省、総務省、内閣府への政策提案

1 回収の状況【全国と広島県の比較】

	全 国	広 島 県
調査対象医療機関数	10,262	287
病院	8,683	253
分娩取扱い診療所	1,579	34
調査票提出医療機関数	8,698	262
病院	7,687	239
分娩取扱い診療所	1,011	23
回収率	84.8%	91.3%
病院	88.5%	94.5%
分娩取扱い診療所	64.0%	67.6%

2—(1) 回答医療機関における現員医師数の状況【全国と広島県の比較】

	全 国	広 島 県
現員医師数	167,063	3,971
正規雇用	132,937	3,267
短時間正規雇用	3,532	126
非常勤	30,594	578
(うち女性医師)	29,129	619
正規雇用	20,792	443
短時間正規雇用	1,286	44
非常勤	7,051	132

2—(2) 回答医療機関における現員医師数の状況【全国と広島県の比較：分娩取扱い医師（再掲）】

	全 国	広 島 県
現員医師数	7,312	156
正規雇用	5,988	131
短時間正規雇用	201	7
非常勤	1,123	18
(うち女性医師)	2,407	45
正規雇用	1,646	32
短時間正規雇用	107	2
非常勤	654	11

3—(1) 必要求人医師数等の状況【全国の状況】

区 分	現員医師数 A	必要求人医師数 B	必要医師数 C		
			倍率(A+B)/A	必要医師数 C	倍率(A+C)/A
正規雇用	132,937	16,488	1.12	21,588	1.16
短時間正規雇用	3,532	617	1.17	817	1.23
非常勤	30,594	1,183	1.04	1,628	1.05
計	167,063	18,288	1.11	24,033	1.14

3—(1) 必要求人医師数等の状況【広島県の状況】

区 分	現員医師数 A	必要求人医師数 B	必要医師数 C		
			倍率(A+B)/A	必要医師数 C	倍率(A+C)/A
正規雇用	3,267.0	406.0	1.12	536.0	1.16
短時間正規雇用	126.0	25.0	1.20	39.0	1.31
非常勤	578.8	30.8	1.05	32.5	1.06
計	3,971.8	461.8	1.12	607.5	1.15

3—(1) 必要求人医師数等の状況【広島県の状況：二次医療圏別】

区分	現員医師数 A	必要求人医師数 B	必要医師数 C		
			倍率 (A+B)/A	必要医師数 C	倍率 (A+C)/A
広島	1,957.6	154.7	1.08	184.9	1.09
広島西	199.4	26.0	1.13	37.0	1.19
呉	451.1	75.4	1.17	89.1	1.20
広島中央	232.3	35.4	1.15	44.2	1.19
尾三	380.9	75.1	1.20	105.1	1.28
福山・府中	610.8	76.8	1.13	101.8	1.17
備北	139.7	18.4	1.13	45.4	1.32
全県	3,971.8	461.8	1.12	607.5	1.15

3—(2) 必要求人医師数等の状況【全国の状況：分娩取扱い医師（再掲）】

区分	現員医師数 A	必要求人医師数 B	必要医師数 C		
			倍率 (A+B)/A	必要医師数 C	倍率 (A+C)/A
正規雇用	5,988	683	1.11	944	1.16
短時間正規雇用	201	41	1.20	64	1.32
非常勤	1,123	72	1.06	116	1.10
計	7,312	796	1.11	1,124	1.15

3—(2) 必要求人医師数等の状況【広島県の状況：分娩取扱い医師（再掲）】

区分	現員医師数 A	必要求人医師数 B	必要医師数 C		
			倍率 (A+B)/A	必要医師数 C	倍率 (A+C)/A
正規雇用	131.0	22.0	1.17	31.0	1.24
短時間正規雇用	7.0	1.0	1.14	2.0	1.29
非常勤	18.7	0.8	1.04	0.9	1.05
計	156.7	23.8	1.15	33.9	1.22

3—(2) 必要求人医師数等の状況【広島県の状況：分娩取扱い医師（再掲）：二次医療圏別】

区分	現員医師数 A	必要求人医師数 B	必要医師数 C		
			倍率 (A+B)/A	必要医師数 C	倍率 (A+C)/A
広島	80.8	5.0	1.06	6.0	1.07
広島西	8.5	0.0	1.00	3.0	1.35
呉	14.5	5.0	1.34	6.0	1.41
広島中央	3.7	0.6	1.16	1.6	1.43
尾三	16.4	4.0	1.24	5.0	1.30
福山・府中	26.8	6.2	1.23	8.2	1.31
備北	6.0	3.0	1.50	4.0	1.67
全県	156.7	23.8	1.15	33.8	1.22

4 必要求人医師数【全国と広島県の比較：診療科別】

全 国			広 島 県		
診療科	倍 率	必要求人医師数	診療科	倍 率	必要求人医師数
リハビリ科	1. 2 3	3 9 6	全科	1. 5 1	1 2. 6
救急科	1. 2 1	5 4 3	病理診断科	1. 3 4	5. 7
呼吸器内科	1. 1 6	6 6 0	婦人科	1. 3 1	4. 7
腎臓内科	1. 1 6	3 5 3	リハビリ科	1. 3 1	1 1. 0
神経内科	1. 1 6	5 5 0	眼科	1. 2 3	1 9. 5
糖尿病内科	1. 1 5	2 7 6	麻酔科	1. 2 0	3 2. 9
産婦人科 他	1. 1 3	9 4 6	救急科	1. 1 7	9. 7

5 必要求人医師の求人理由・求人方法（複数回答あり）【全国と広島県の比較】

① 求人理由

区 分	全 国		広 島 県	
	件数	全件数に占める割合	件数	全件数に占める割合
現員医師の負担軽減(入院又は外来患者数が多い)	11, 757件	27. 8%	257件	21. 8%
退職医師の補充	7, 413件	17. 5%	218件	18. 5%
現員医師の負担軽減(日直・宿直が多い)	6, 860件	16. 2%	195件	16. 6%
救急医療への対応	5, 953件	14. 1%	156件	13. 3%
外部機関からの派遣等から自己確保へ	3, 539件	8. 4%	117件	9. 9%
非常勤医師により滞りなく業務が進められているが正規雇用が望ましいと考えるため	3, 549件	8. 4%	104件	8. 8%
休診中の診療科の再開	966件	2. 3%	37件	3. 1%
近々医師の退職が予定されているため	1, 238件	2. 9%	29件	2. 5%
休棟・休床している病棟・病床の再開	928件	2. 2%	13件	1. 1%
その他	102件	0. 2%	51件	4. 3%
計	42, 305件	100. 0%	1, 177件	100. 0%

② 求人方法

区 分	全 国		広 島 県	
	件数	全件数に占める割合	件数	全件数に占める割合
大学(医局等)へ依頼	13, 691件	28. 2%	375件	31. 3%
インターネットへ掲載	11, 676件	24. 1%	290件	24. 2%
民間業者へ依頼	9, 200件	19. 0%	215件	18. 0%
個人的に依頼	5, 760件	11. 9%	148件	12. 4%
医師会の医師バンク等へ登録	2, 446件	5. 0%	68件	5. 7%
医学雑誌求人広告	2, 415件	5. 0%	38件	3. 2%
都道府県へ依頼	2, 258件	4. 7%	14件	1. 2%
都道府県ドクタープール制度の活用	947件	2. 0%	13件	1. 1%
その他	87件	0. 2%	36件	3. 0%
計	48, 480件	100. 0%	1, 197件	100. 0%

6 医療機関の医師が充足されない背景【全国と広島県の比較】

① 求人しているにもかかわらず医師が充足されない背景

区 分	全国		広島県	
	件数	全件数に占める割合	件数	全件数に占める割合
求人している診療科医師の絶対数が県内(地域内)で少ない	4,212件	38.0%	113件	37.4%
大学の医師派遣機能が低下している	2,207件	19.9%	82件	27.2%
立地条件に不利がある	1,398件	12.6%	41件	13.6%
当院の勤務条件(当直や報酬等)と医師の希望との不一致	1,549件	14.0%	38件	12.6%
求人に対する応募がない,又は少ない	427件	3.8%	16件	5.3%
その他	1,295件	11.7%	12件	4.0%
計	11,088件	100.0%	302件	100.0%

② 医師を求人しなければならなくなった原因

区 分	全国		広島県	
	件数	全件数に占める割合	件数	全件数に占める割合
他の病院への転職,開業,定年等による医師の退職(従前通りの体制を維持するために必要)	3,650件	33.6%	87件	28.2%
医師の引き上げ等大学の医師派遣機能の低下による医師が減少(従前通りの体制を維持するために必要)	2,136件	19.6%	77件	24.9%
患者数,手術件数の増加等地域ニーズの増大に対応することが必要	1,912件	17.6%	45件	14.6%
医師の勤務時間の短縮等勤務環境を改善することが必要	1,680件	15.4%	25件	8.1%
非常勤医師から正規雇用医師に切り替えるため	275件	2.5%	5件	1.6%
その他	1,225件	11.3%	70件	22.7%
計	10,878件	100.0%	309件	100.0%

7 必要非求人医師数の必要理由・求人していない理由(複数回答あり)【全国と広島県の比較】

① 必要理由

必要理由	全国		広島県	
	件数	全件数に占める割合	件数	全件数に占める割合
現員医師の負担軽減(入院又は外来患者数が多い)	3,217件	32.3%	83件	32.4%
現員医師の負担軽減(日直・宿直が多い)	2,133件	21.4%	42件	16.4%
非常勤医師により滞りなく業務が進められているが正規雇用が望ましいと考えるため	949件	9.5%	37件	14.5%
退職医師の補充	953件	9.6%	26件	10.2%
外部機関からの派遣等から自己確保へ	758件	7.6%	24件	9.4%
救急医療への対応	1,196件	12.0%	21件	8.2%
近々医師の退職が予定されているため	331件	3.3%	5件	2.0%
休診中の診療科の再開	212件	2.1%	3件	1.2%
休棟・休床している病棟・病床の再開	130件	1.3%	1件	0.4%
その他	86件	0.9%	14件	5.5%
計	9,965件	100.0%	256件	100.0%

② 求人していない理由

求人していない理由	全国		広島県	
	件数	全件数に占める割合	件数	全件数に占める割合
求人しても確保が見込めない	1,834件	30.4%	67件	38.1%
具体的な求人計画は今後検討	2,863件	47.5%	56件	31.8%
経営的理由	1,205件	20.0%	31件	17.6%
その他	122件	2.0%	22件	12.5%
計	6,024件	100.0%	176件	100.0%

8 医療機関の医師確保対策について（複数回答あり）【全国と広島県の比較】

① 現在、医療機関で行っている医師確保対策の取り組みについて

現在、医療機関で行っている取り組み	全国		広島県	
	件数	全件数に占める割合	件数	全件数に占める割合
勤務手当(手術手当, 分娩手当など労働基準法以外の手当)等の処遇改善	3,339件	24.9%	93件	22.4%
院内保育所の設置	2,377件	17.7%	77件	18.6%
短時間正規雇用等弾力的な勤務形態の導入	1,892件	14.1%	62件	14.9%
看護師等との業務分担見直しによる業務負担軽減	2,132件	15.9%	62件	14.9%
医師事務補助者の配置	2,207件	16.4%	58件	14.0%
交替制勤務の実施	1,229件	9.2%	39件	9.4%
その他	245件	1.8%	24件	5.8%
計	13,421件	100.0%	415件	100.0%

② 現時点では行っていないが、行えば効果が高いと考えられる取り組みについて

効果が高いと考えられる取り組み	全国		広島県	
	件数	全件数に占める割合	件数	全件数に占める割合
医師事務補助者の設置	2,543件	22.9%	86件	24.6%
勤務手当(手術手当, 分娩手当などの労働基準法以外の手当)等の処遇改善	2,169件	19.5%	65件	18.6%
短時間正規雇用等弾力的な勤務形態の導入	1,934件	17.4%	59件	16.9%
看護師等との業務分担見直しによる業務負担軽減	1,804件	16.2%	56件	16.0%
交替制勤務の実施	1,473件	13.3%	46件	13.1%
院内保育所の設置	965件	8.7%	28件	8.0%
その他	227件	2.0%	10件	2.9%
計	11,115件	100.0%	350件	100.0%